

2023年6月19日

各 位

会 社 名 飯田グループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 井 雅 史
(コード：3291 東証プライム市場)
問合せ先 代表取締役専務 西 野 弘
(TEL. 0422-38-8828)

AI 解析を用いた住宅と連携した健康増進に関するビジネスモデル特許取得のお知らせ

当社は、下記の通り、戸建て住宅、集合住宅及び老人ホーム等を含む住宅と連携した居住者の健康増進に関するビジネスモデル特許を取得しましたのでお知らせいたします。

記

1. ビジネスモデル特許の概要

発明の名称：健康増進プログラム提供システム及び健康増進プログラム提供方法
特許番号：特許第 7285886 号
特許登録日：2023年5月25日
特許権者：飯田グループホールディングス株式会社

2. 研究開発に関する取り組み

当社グループは、「より多くの人々が幸せに暮らせる住環境を創造し、豊かな社会作りに貢献する」という経営理念のもと、長く・安全・快適に暮らせる住宅・サービスを提供してまいりました。人生100年時代に70年以上住み続けられる、高品質で維持管理のしやすい住宅を年間4万棟以上提供しております。

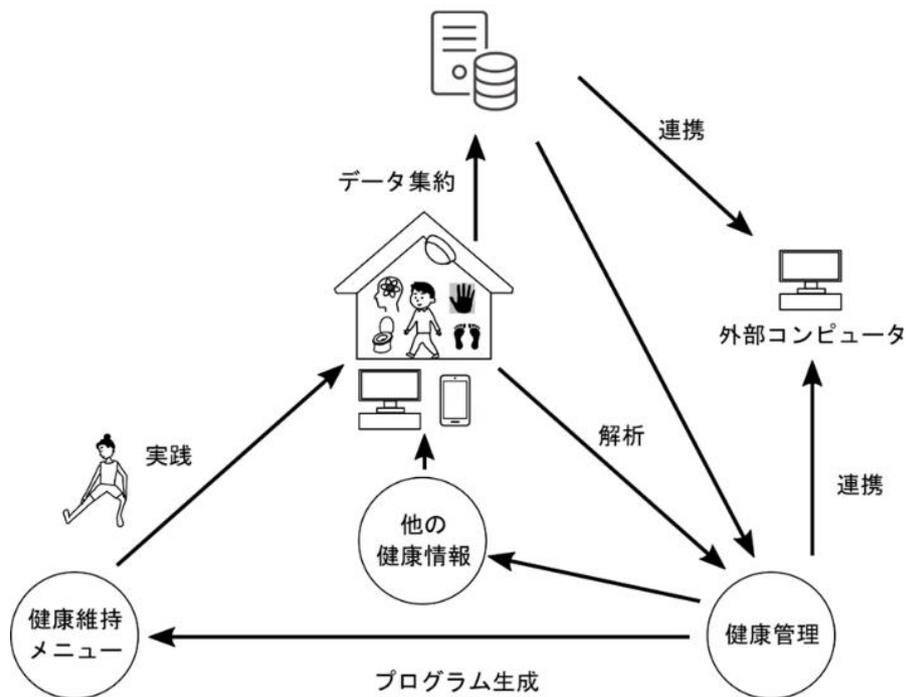
さらに、当社グループでは、住宅の品質にこだわるだけでなく、長く安心して暮らしていただくために、その家に住む人の健康にも寄り添っていきたいという思いから、従前より大阪公立大学と共同でライフステージやライフスタイルに応じ健康で豊かに暮らすことのできる未来の住空間の研究開発に取り組んでおります。

この度、これらの研究開発のひとつである、AI 解析を用いた「戸建て住宅、集合住宅及び老人ホーム等を含む住宅と連携した健康増進に関するビジネスモデル特許」を取得いたしました。

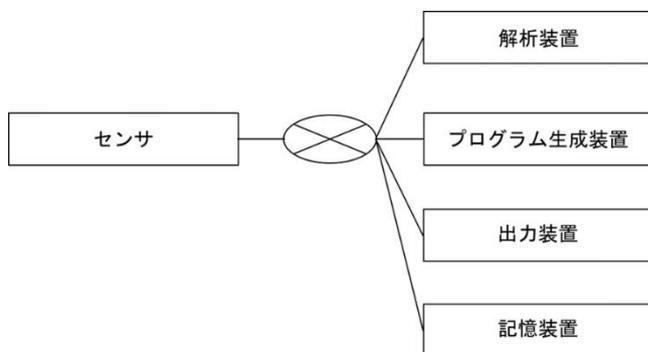
本ビジネスモデル特許の技術は、まず、住宅内に設置されたセンサによって生体データを収集及び計測し、得られた計測データを AI で解析します。そして、解析された結果に基づき、居住者ごとに健康増進プログラム等を提供し未病維持につなげるというものです。このモデルにより、日常生活における居住者の健康の維持及び増進の実現を目指します。また、上記の居住者の生体データを、データサーバに集約し、居住者の承諾のもと、健康情報及び医療情報として医療機関等に連携することで、住みながらにして住宅から適切な健康アドバイスを受けられる仕組みを想定しています（図1参照）。

当社グループは、健康アドバイスの正確性をより高めるため、生体データの収集・解析するための特許を既に4件申請しており、今後も外部研究機関と連携して開発を進めていきたいと考えています。

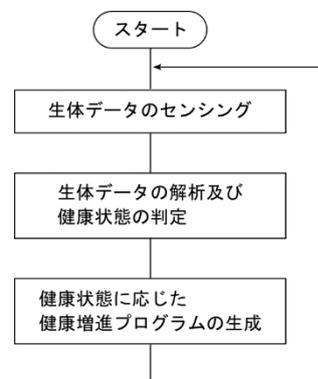
【図 1】健康増進プログラム提供システム（公開特許公報より引用）



【図 2】健康増進プログラム提供システムの構成要素
（公開特許公報より引用）



【図 3】健康増進プログラム提供システムの
処理手順（公開特許公報より引用）



3. 今後の見通し

本特許取得による 2024 年 3 月期の当社連結業績への影響は軽微であると判断しておりますが、本特許は将来的な企業価値の向上に寄与することが期待され、特許を取得できたことは有益なことであると考えております。

以上